

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信



平成17年12月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.36



2年ぶりの滑りを楽しむスノーボーダー。晴天時には阿蘇五岳や九重山、祖母山など九州中央山地が見渡せます。



坂副知事も初滑りを楽しまれました。



オープニングセレモニーのテープカット(左から児玉宮崎北部森林管理署長、坂副知事、飯千五ヶ瀬町長、緒嶋県議会議員、後藤五ヶ瀬町議会議長)



スキーセンターからパーキングセンターへ下るリフトから見た樹氷。

日本最南端の天然スキー場「五ヶ瀬ハイランドスキー場」(五ヶ瀬町鞍岡)は、12月17日、2年ぶりにオープンしました。

昨シーズンは台風被害により、平成2年12月の開業以来初めての営業休止を余儀なくされました。

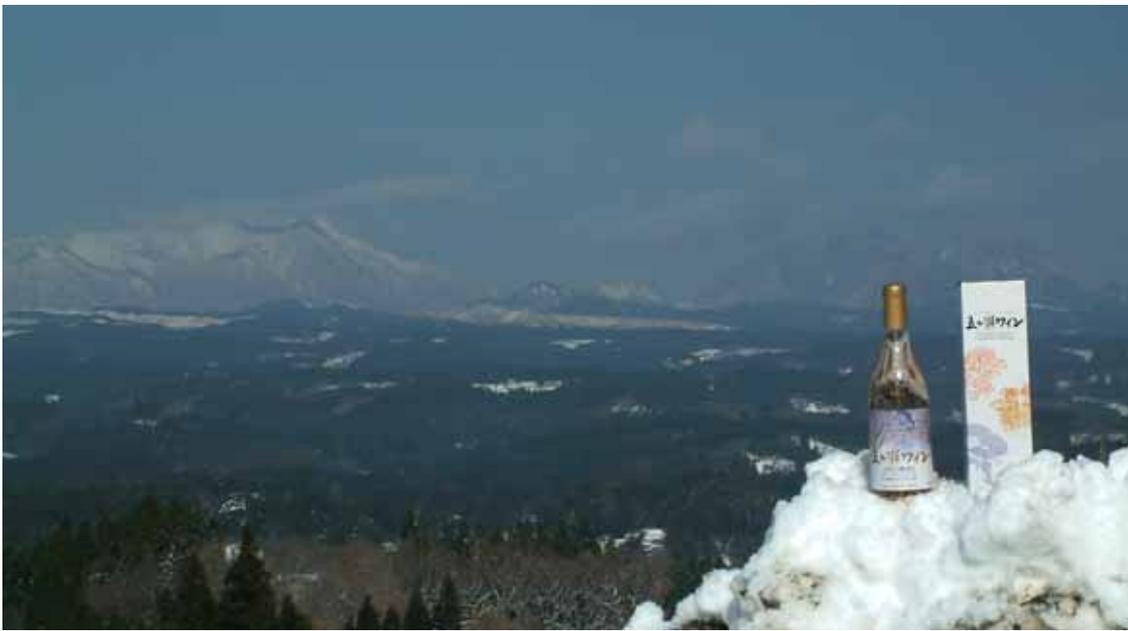
今年は平年より雪が多く、「パラダイスコース」(約千メートル)が初日から全面滑走できるコンディションは開業以来初めて。

今シーズンの営業は、平成18年3月21日までです。

《お問い合わせ先》(0982)83-2144

# 五ヶ瀬ワイナリー「オープン」

五ヶ瀬町の「五ヶ瀬ワイナリー」は、十二月二十三日に「五ヶ瀬町産ブドウを百%使って五ヶ瀬町で製造した真正銘の五ヶ瀬町産ワイン」の販売を開始しました。初蔵出しとなったワインは「雪の麗峰」。売店、見学コースもオープンしました。平成一八年一月には、ナイヤガラで醸造した白ワイン「白滝」を販売予定です。



五ヶ瀬ワイナリー前の駐車場で、阿蘇の山々をバックに初蔵出しされた五ヶ瀬ワイン「雪の麗峰」を撮影。「雪の麗峰」は、ブラックオリーブを原料に製造された甘口の白ワイン。



お客様にワインを手渡す五ヶ瀬ワイナリーの平原課長（中央）



初蔵出しのワインを求めて約100人が開店前に並びました。



試飲コーナーもあります。



12月20日には安藤知事にワインを贈呈しました。



当日は、ブドウ生産者の方々にワインの贈呈がありました。



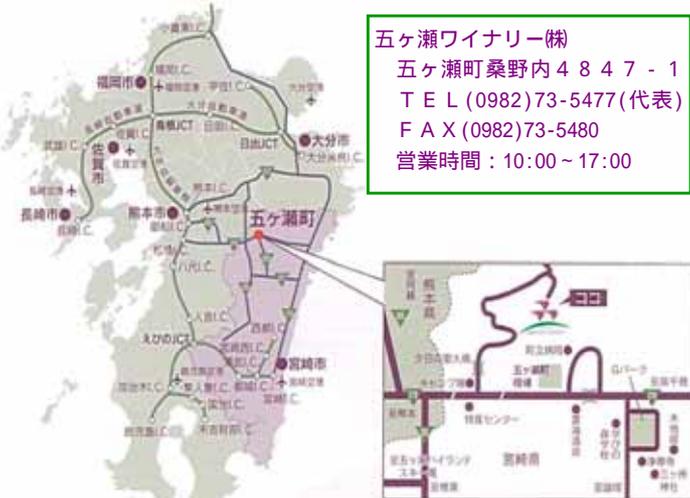
五ヶ瀬ワイナリーの外観



売店では、ワインの他五ヶ瀬町の特産品等が展示販売されています。



## [ アクセス ]



五ヶ瀬ワイナリー(株)  
五ヶ瀬町桑野内4847-1  
TEL (0982)73-5477(代表)  
FAX (0982)73-5480  
営業時間：10:00～17:00

## 第8回 西臼杵農山村いきいき交流会

西臼杵地区農山村女性会議と西臼杵農業改良普及センターが共催し、12月13日に高千穂町自然休養村管理センターで開催しました。

交流会は、『女(ひと)と男(ひと)で支える地域づくり』をテーマに、雪の降る中、農山村女性会議メンバーや関係団体、行政、高校生等約200人が参加して行われました。

後藤郁南さん(五ヶ瀬町)、工藤慎一郎さん(高千穂町)、高橋章さん(日之影町)、内倉和洋さん(高千穂高校農業科2年)の4名の意見発表、西臼杵普及センターからの講話、22人による1分間スピーチが行われ、より良い農山村社会づくりにつなげることを確認しました。



農業や西臼杵について夢や思いを1分間スピーチする「2人でつなぐ話の輪」も行われました。

## みやざき県産酒マスコミPR事業

県では、焼酎に代表される本県産酒の一層の定着と県産品全体のイメージアップを図るため、首都圏のマスコミを招聘して、県産酒の蔵元を取材していただき、それぞれの雑誌等で紹介していただくという事業を、西臼杵地区の焼酎蔵元4社を対象に11月29日から30日にかけて実施しました。

有限会社飲食文化研究所「繁盛できる」編集部、朝日新聞「定年時代」、金羊社「焼酎楽園」編集部、株式会社徳間書店「食楽」、たる出版株式会社「ほろよい手帖」「たる」の5社、6名が参加しました。

今回の取材結果が雑誌等に掲載されるのが楽しみです。



酒蔵を取材するマスコミの方々。ラベルの手貼り等を興味深く取材されていました。(日之影町の姫泉酒造にて)

## 県境を越えた地域振興連絡会議

熊本県(阿蘇)、大分県(竹田直入、玖珠九重、日田)と西臼杵支庁は、県境を越えて、相互の情報交換及び連携を図ることを目的に、九重町で11月28日に開催しました。



広域的な周遊観光ルートづくりに平成17年度から取り組むことになりました。

## 東・西臼杵地区鳥インフルエンザ防疫演習

鳥インフルエンザが管内で発生した場合の防疫体制の確認を行うため、東臼杵農林振興局、西臼杵支庁、延岡家畜保健衛生所が共催し、12月9日にJA延岡会議室で実施しました。

県や市町村、JA、NOSA I、畜産関係者等81名が参加しました。

会議では、「国内及び海外での発生状況」、「茨城県での発生状況及び防疫体制」、「管内で発生した場合の防衛活動手順」について説明が行われました。また、各市町村で鳥インフルエンザが発生したと仮定した場合に、どこに消毒ポイントを設置するか、埋却等の処分方法をどうするのかについて机上演習を実施し、関係者一同、防疫体制の再確認を行いました。

この演習により東・西臼杵地区の鳥インフルエンザへの防疫がより徹底されるものと期待されます。



会議終了後に、JA延岡の駐車場において、防疫服等の着用及び車両消毒の実演も行われました。

## 第1回西臼杵地区地域安全対策ネットワーク会議

広島、栃木で子供を狙った凶悪犯罪が続発していることから、地域でのネットワークを生かした防犯体制を築き、子供達を犯罪から守ろうと、高千穂警察署と西臼杵教育事務所が共催し、12月20日に高千穂町で開催されました。



大切な子供達一人ひとりを見守るためのアイデアなど活発な意見交換が行われました。

## 平成17年度河川愛護サポーター知事表彰

12月22日

県内で河川や海岸の愛護をサポートしている団体の知事表彰が行われ、高千穂町の上野地区村おこし推進連絡協議会（会長：荒内義夫さん、会員48人）が受賞しました。

同協議会は、上野地区公民館長が中心になり、各団体の代表者及び趣旨に賛同する会員を募り、昭和63年に設立されています。設立以来、17年間河川清掃に取り組むとともに、漁協の協力を得て河川に親しみながら環境を考える「魚のつかみ取り大会」や「釣り大会」等も開催しています。



安藤知事と記念撮影する上野地区村おこし推進連絡協議会会長 荒内義夫さん

## 日出活性化センター（あじさい）落成

12月20日

県営中山間地域総合整備事業により7月から建設を進めていた日出活性化センターが完成し、落成式が行われました。

活性化センターの花壇や芝張りは、建設に先立って、地元の公民館の方々によって行われました。

活性化センターは、郷土伝統文化の継承はもとより、後継者の育成等の拠点施設として地域発展のために活用されます。



日出活性化センター（あじさい）

## 五ヶ瀬町内保育所サンタクロース訪問事業

12月20日

五ヶ瀬町商工会青年部は、青年部員がサンタクロースに扮して五ヶ瀬町内の保育所を訪問し、園児にお菓子をプレゼントする事業を実施しました。

園児が夢を育む一助になればと、13年前から実施しています。

12月10日には「虹色の会」を対象に社会福祉協議会で実施しました。

また、女性部も、12月22日に「ごかせ荘」で実施しました。



サンタクロースに質問する三ヶ所保育園の園児

## 編集後記

熊本県では、6年後の九州新幹線の全線開業を見据え、開業効果を最大限発揮させるための具体的な戦略を構築中です。阿蘇地域振興局では、豊かな自然、歴史・文化、食など地域に存在する観光資源を観光客の視点で評価し、県内外に「売れる」観光素材の磨き上げに取り組まれています。西臼杵も九州新幹線を意識し、戦略を策定することが重要であると思います。台風14号の災害査定も12月末で、すべて無事終了しました。関係者の皆様お疲れ様でした。来年は、災害のない良い年になりますようお祈りいたします。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

## 西臼杵支庁だより

### 西臼杵地区女性職員交流会 発見 再発見 高千穂町の魅力」11月30日

高千穂町の田尻商工観光課長を講師に招いて実施しました。

高千穂の夜神楽の話を中心に詳しい話をさせていただきました。



楽しく、わかりやすい話をさせていただいた高千穂町商工観光課 田尻課長

### 高千穂小4年生が西臼杵支庁を訪問

12月6日、13日

高千穂小学校4年生が、総合学習の職場訪問で西臼杵支庁の林務課と土木課を訪問しました。



林務課は、橋口主幹と白石技師が対応。まず「森からのおくりもの」の紙芝居を見てもらい、その後、子供たちの質問に丁寧に説明しました。



土木課は前田課長が対応。防災をテーマに、子供達から「日頃苦労していることや工夫していることは何ですか」等の質問を受け、丁寧に説明しました。